

【工夫のポイント】

- 大型機械・ICTの導入を可能とする大区画化。
- 基盤整備を契機とした担い手への農地集積による、作業効率の向上。
- GPS付の田植え機(直進アシスト)やドローンなどのICTの導入による、作業時間の削減。

ほ場の大区画化による労力の軽減・作業効率の向上

基盤

- 農道は基幹農道整備・拡幅、水田区画は大区画化。
→集出荷の労力軽減、大型機械の導入で作業効率が向上
- 用水は調整池・機場整備で反復利用、排水は整備で乾田化。
→慢性的な用水不足と排水不良を解消。



整備されたほ場で栽培される水稻



安定した用水供給を可能とした調整池と機場

基盤整備
(H28年～R5年)

【整備前】

- 農道は狭小で、水田の区画は小さく不整形。
- 水源が限られ用水不足、排水路は土水路で排水不良。
→農作業に多大な労力を要していた。



基盤整備前の状況

【取組地域の概要】

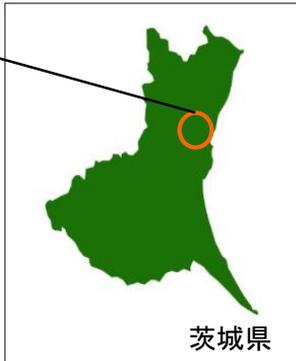
- 位置
・茨城県 常陸太田市

ひたちおた

おめ
小目地区

- 受益面積
・21.8ha

- 主要作物
・水稻



茨城県

- 支援施策
・ふるさと農道整備事業 (H30～R5)
・経営体育成基盤整備事業 (H28～R5)
・多面的機能支払交付金 (R5～)

担い手へ農地を集積・集約化

担い手

- 基盤整備を契機に担い手への農地集積が進展し、作業効率が向上。
- 農地集積率
【事業前】27% → 【事業後】78%



農業交通の省力化

流通

- 営農及び農産物の輸送に重要な基幹農道(ふるさと農道)の整備により、農業交通の省力化。



基幹農道(ふるさと農道)

ほ場の大区画化による大型機械・ICTの導入

生産現場

- GPS付の田植え機(直進アシスト)やドローンなどのICTを導入したことで、従来の作業時間から約40%削減。



大区画化による大型機械の導入



ドローンによる水田直播の様子



1haあたり 【ドローン直播による作業時間の削減】

